

## 平成25年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	元風ネット
議員名	金濱 元一 ・ 南川 達彦
調査実施年月日	平成25年1月30日
調査先 自治体名等	熊本県 熊本市
調査項目	ソフリエ・パパシエ事業
調査目的	ソフリエ・パパシエ講座
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口: 734,361 人(H24.4.1現在) 行政面積: 389.54 km<sup>2</sup></p> <p>2 視察内容 熊本市企画振興局市民協働課男女共生推進室 室長 藤川様・主査 森川様 男女共同参画センターはあもにい館長 藤井様・課長 吉田様にお話をうかがった。</p> <p>センターの実施事業について 男女共同参画センターは、H25年度より指定管理とし、3社での協働受託で運営されている。 受託業務として、男女共同参画啓発事業、社会参画支援事業、はあもにいフェスタ、市民グループの活動支援、市民文化の振興及び交流を行っている。 女性の社会参画のために資格を取るための講座や、テレワーキングの講座を行っている。</p> <p>ソフリエ・パパシエ講座 H24年度から女性の社会参画を進めるためには、男性が積極的に子育てにかかわってもらうことが必要であるということから、H24年度よりソフリエ・パパシエ講座を企画。H25年度も実施している。 ソフリエ・パパシエ講座は、東京のNPO法人から講座のノウハウと講師を招き、テキストをもとに子育ての知識を学び、実際に抱き方や離乳食づくりなどを体験する。 H25年度はH24年度を受講生と地域の幼稚園の教諭にも講師側になって参加してもらっているということであった。 1日の講座の中で、子育ての多くの知識を学ぶことは、大変であるということが壁になり、参加を自粛されることもあり、気軽に参加できる仕組み作りが課題となっているとのことであった。</p>
感想(まとめ) 本市へ生かせること 等	<p>本市においても、団塊の世代の方の人口比率は高く、退職後の団塊の世代の方にまちづくりへ参画してもらうことは本市にとっては大きな力になります。そのための方策として、熊本市のように子どもたちとの交流をきっかけにすることは有用であると考えます。 本市の子育て環境として、共働きが増えてきており、団塊の世代の方が子育ての支援を行ってもらうことは、団塊の世代の方の生きがいづくりと共に子育て環境の改善にもつながると考えます。 熊本の例を参考にしながら、今後の本市における、団塊の世代の方への施策の充実を検討していきたい。</p>

